



<http://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

平成29年8月

残暑お見舞い申し上げます

■今号20ページ 主な内容

- JA阿蘇第16回通常総代会
- JA阿蘇新役員ご挨拶、新役員紹介
- 生産各部会の生育・出荷・査定会・総会の動き
- JA阿蘇「総合展示会」のご案内!

今号も話題と情報が満載!!



●/▲ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

白糸の滝(西原村)

『安全・安心』な農業への展開、地域経済社会への貢献に役職員一丸となって取り組む

JA阿蘇第16回通常総代会
役員選任など全議案を承認

写真右上＝開会挨拶をする原山組合長 写真上＝新たに選任された役員の皆さん

JA阿蘇の第16回通常総代会が6月23日、総代やJA阿蘇役職員をはじめ管内自治体首長ら多数の来賓を迎え、阿蘇市体育館で開催されました。

開会挨拶で原山寅雄組合長は「昨年

発生しました熊本地震・豪雨・阿蘇山噴火等、多くの自然災害により被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、農家、地域住民の方々が一日も早く元の生活を取り戻せますように、我々JA阿蘇も復旧・復興に向け、努力して参ります。組合員の皆さまの負託に応えることを基本としながら、地域住民や利用者に信頼され『安全・安心』な農業の展開、併せて地域経済社会に貢献をすべく、事業の展開を目指し、役員一丸となって取り組んでいきます」と述べました。

来賓祝辞、出席人員報告後、議長に白石吉勝氏（高森町）を選任し、議事に移りました。議事ではⅡ「第1号議案」平成28年度事業報告及び剰余金処分案について、「報告事項」平成28年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書について、「第2号議案」平成29年度事業計画及び関連事項について、「第3号議案」役員の選任について、「第4号議案」役員退職慰労金の支給について、「第5号議案」全国農業協同組合連合会が行う農業経営事業に関する同意について等Ⅱが執行部より提出され、質疑応答が行われた結果、全議案通り承認されました。

尚、総代会開会に先立ち、平成28年度表彰が行われました。

慶祝者26人を表彰
退職者連盟阿蘇支部総会

農林漁業団体退職者連盟阿蘇支部は7月3日、阿蘇市で第2回通常総会を開き、会員や役員ら約55人が参加し2016年度活動報告や2017年度活動計画など、全3議案を承認しま



平成28年度表彰の様子

ふなつと自慢

日本三大下り宮「草部吉見神社」
県内有数のパワースポット

神武天皇の第一皇子・日子八井命（ヒコヤイノミコト）ほか12柱を祀る阿蘇開拓の由緒ある神社。社殿が鳥居より下にある珍しい配置で、県内有数のパワースポットでもある。



した。井一男支部長は「今後とも受給者の生活安定を図る活動をはじめ、会員の加入促進・連盟組織の強化等に取り組んでいきたい」と挨拶しました。

16年度慶祝者として喜寿の12人、米寿の14人に表彰状と記念品が贈られました。総会後は県農林年金相談員の堀春美さんより、年金制度をめぐる情勢等についての講演がありました。

（写真右上Ⅱ当日出席の慶祝者表彰の方々



挨拶をする井支部長

JA阿蘇 新役員就任のご挨拶 ①

組合長の再任を受けて

なくてはならない農協になるために
現場力を上げることに力を注ぎます代表理事 組合長
原 山 寅 雄
(小国郷)

6月に開催されました第16回通常総代会におきましては、すべての議案においてご承認いただき誠に有難う御座いました。また、役員改選により41名の理事・監事が選任され、その後の理事会により組合長に再任をいただくことになりました。JA改革という新たな荒波が迫る中、その責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

先ず、これまでも行ってきた阿蘇地域の「復旧と復興」につきましては、JA阿蘇としてできることは精一杯の努力を行います。次に、先行きが不透明な農政において、阿蘇の農業をこれからも守るために、新しい次の世代へつなげていくために組合員の先頭に立つて旗をふる覚悟であります。

そして、迫りくるJA改革に対しましては、4つの柱で改革を行います。「意識の改革」「風土の改革」「職場の改革」、そして経費の削減をさらに進める「経営改革」です。

最後に、組合員のための農協になるために「現場力」を上げていくことに力を注ぎます。

そのためには風通しのよい職場環境が必要であり、意見・進言が発信しやすい組織にならなくてははいけません。

組合員皆様のご協力を宜しく願いますとともに、組合員にとって「農協があつてよかった。」と喜ばれる農協づくりに、全身全霊で役職員一丸となって取り組んでまいります。

命育む大切な役割の農業
生産者・消費者・地域のため守ります代表理事 常務
〔経済担当〕
大 塚 恵 志
(阿蘇南)

今回の役員改選により、二期目の代表理事常務(経済担当)に就任しました大塚恵志でございます。

改めて、責任の重さを痛感しているところでございます。

前任期を振り返ってみますと、昨年起りました熊本地震・集中豪雨・阿蘇山の噴火など多発する自然災害により、管内においても甚大な被害発生が出ております。被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、農家、地域住民の方々が一日も早く元通りの生活が取り戻せるよう、祈念しております。

さて、昨年を振り返ってみますと、農業、農村、農協

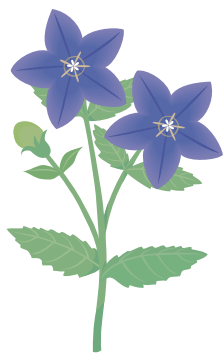
を巡る情勢が大きく変化した年でもあります。TPP交渉において政府は、米・麦・牛肉・豚肉等の重要5品目は守ったと言いつつ、国民への説明・情報開示も十分に無きまま突き進み、昨年の国会においてTPPは批准されました。

しかし、最大の貿易相手国アメリカのトランプ大統領は、このTPPは国益にならないと判断し、これを離脱、個々の国との交渉を行う方針へ転換しております。

しかし、政府は引き続きアメリカをTPPの舞台へ引き戻す事をいまだ諦めておらず、政権の企業利益のみの政策方針が垣間見えており。日米間の今後さらに複雑化したTPPを超える熾烈な交渉へ発展する事も懸念されます。

このような農業情勢を踏まえ、農協の経済部門を担当するものとして、市場経済論理で片づけることの出来ない、命を育む大切な役割としての農業を生産者・消費者・地域のため、守って行きたいと思っております。

今後とも組合員のみなさまのより一層のご指導、ご協力を心からお願ひ申し上げ、ご挨拶と致します。



JA阿蘇 新役員就任のご挨拶 ②

農業所得を増大させ、安心して
経営継続が出来るよう全力つくします



代表理事常務
〔信用・共済担当〕
春山 光男
(阿蘇町)

今回の役員改選より、信用、共済部門の担当常務に就任致しました旧阿蘇町内牧出身の春山光男でございます。その職務の内容を鑑みたと、責任の重大さを痛感致しております。

農業を取り巻く環境は、農業者の減少や農業従事者の高齢化が進むとともに、後継者不足の中で農業経営形態に変化がみられ、認定農業者、集落営農、法人経営体等が増加しており、規模拡大や大型機械導入に適応した農業資金の充実を図り、農業所得を増大させ農業が将来にわたり、安心して経営継続が出来る様全力で頑張つて行く所存であります。

農協の経営収支は日本銀行のマイナス金利政策の影響により預金利率が低下し、信用事業収益及び共済保有高の減少により厳しい状況にあります。

この様な中で役職員一体となつて、経営の健全性を保ち組合員に必要とされるJAづくりを目指し、粉骨碎身、精一杯の努力をしております。

組合員の皆様、地域の皆様のご協力、ご支援を心よりお願い申し上げ、就任の挨拶と致します。

監事会にて情報を共有し
監事一丸となつて監査に努めます



代表監事
岩下 友春
(阿蘇南)

このたびの役員改選により、代表監事に再任いただきました岩下でございます。

さて、農業情勢も依然として厳しい状況が続くなか、昨年は熊本地震により管内農地にも多大なる被害が出たことは皆様ご存じのとおりでございます。

このような中、監事として三期目を迎えるにあたり組合員・地域の方々の信頼、期待に応えるため最大限の努力をしていく所存であります。

さらに、平成31年度の会計監査人監査（公認会計士による監査）に向け、理事の職務執行、内部統制の整備状況、法令及び内部規定の遵守・整備等について十分検証し、監事会にて情報を共有し監事7名一丸となつて監査に努めてまいります。

これまでの監事経験を活かし、代表監事としての責務を全うできるよう努めてまいりますので、今後とも皆様のご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

法令遵守の状況等を検証し
公正公平な監査を実施いたします



常勤監事
山中 敬夫
(蘇陽)

この度、役員改選によりまして、常勤監事に就任いたしました山都町出身の山中敬夫でございます。

その責務の重大さを痛感し身の引き締まる思いであります。さて、農業を取り巻く情勢につきましては、農家の高齢化や後継者不足による農業人口の減少問題等厳しい状況が続いております。

このような中、組合員・利用者の皆様から信頼されるJAづくりを目指し、JAの経営方針を踏まえて理事の経営管理体制・業務執行体制・財務管理体制等について法令遵守の状況等を検証し、監事監査規程に従い、監事7名協力し公正公平な監査を実施いたします。

これまで職員及び非常勤監事として経験させていただいたことを活かし、常勤監事として精一杯の努力をしております。

組合員のみならず、地域の皆様のご協力、ご支援を心よりお願いし、就任の挨拶といたします。

JA阿蘇 新理事



岩下 義国
(波野)



志賀 泰次
(産山)



笹原 真一
(一の宮)



梅木 秀三
(一の宮)



渡邊 良作
(一の宮)



興梠 修
(蘇陽)



宇藤 元志
(高森)



吉良山 友二
(高森)



二子石 富士夫
(高森)



山口 高則
(蘇陽)



中島 邦博
(西原)



中野 敏嗣
(西原)



山内 幸一
(阿蘇町)



野田 英俊
(阿蘇南)



北野 悦之
(阿蘇南)



今村 孝明
(阿蘇南)



古澤 博保
(阿蘇南)



田上 修一
(阿蘇南)



永野 秀幸
(小国郷)



柳川 栄一
(阿蘇町)



山口 力男
(阿蘇町)



立石 計
(阿蘇町)



井 義仁
(阿蘇町)



山本 文昭
(阿蘇町)



大和 とよ子
(女性部)



中村 和章
(青壮年部)



河津 篤
(小国郷)



北里 卓也
(小国郷)



大塚 嘉久
(小国郷)



阿南 徹郎
(小国郷)

JA阿蘇 新監事

新理事



渡邊 雄二
(小国郷)



村山 啓助
(一の宮)



田上 幸納
(高森)



宮崎 健幸
(阿蘇町)



徳永 隆紀
(区域全域)



栃原 清子
(女性部)

JA 阿蘇就農相談会の開催について

相談会について

10月～12月の第1土曜日に、新規就農相談会を行います。阿蘇管内で新たに農業を始めたい、始めるにはどうしたらいいのかわからない、資金の借り入れ方法など、就農に関するご相談をお伺いしますので、お気軽にお越し下さい。

日程について

第一回	10月7日(土)	} 開催時間は、 9:00～12:00 まで を予定しています。
第二回	11月4日(土)	
第三回	12月2日(土)	

※場所は、阿蘇市一の宮町宮地 387-5
JA阿蘇 本所会議室にて行います。

参加について

参加は、事前予約をお勧めしております。

※事前に相談内容の確認をお伺いし、専門の担当者の意見をお伝え致します。

当日参加も受け付けますが、
お待ち頂く場合もございます
ので事前の連絡を
よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

JA阿蘇 営農部 営農企画課

担当：副田・杉原

TEL：0967-22-6115 FAX：0967-22-6117

E-mail：jaasoaiiro@jaaso.or.jp

『生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報』

中部トマト部会出荷査定会
販売目標13億円めざす

JA阿蘇中部トマト部会は5月29日、一の宮中央支所に生産者や市場関係者ら約170人が参加し、2017年産夏秋トマト出荷査定会を開催しました。冒頭、竹原輝一部会長は「本年度も無事に出荷を迎えられた。6人の新規部会加入も加わり、産地として更なる飛躍となるよう一丸となって今シーズンも頑張ろう」と挨拶しました。

本年度の作付面積39・44ha(前年比102%)、生産者151名(同145名)、計画出荷量100万ケースで約13億円を販売額を見込んでいます。

(写真右Ⅱ会場の一角に飾られたトマト)

夏秋トマト出荷本番を迎える

中部トマト部会は6月15日より夏秋トマトの出荷本番を迎えました。同部会では、荷量も安定し秀品率も良好なサカタ種苗「りんか409」を導入して

中部ミニトマト部会出荷査定会
「品質・玉太り・食味良好!」

JA阿蘇中部ミニトマト部会は6月6日、中部野菜センターに生産者ら約40人が参加し、2017年産夏秋ミニトマト出荷査定会を開きました。同部

おり、当日、収穫を行っていた部会員の岩下繁成さんは「ようやく収穫量が増えてきた。肥培管理をしつかり行い安全・安心・安定出荷を目指したい」と語っていました。中部野菜センターでは

(取材時)日量約3000ケースを九州管内中心に出荷しています。

指導員の宮崎大智職員は「今後も7月末まで潤沢な出荷が見込める着果数だ」と語り、販売担当の松田浩幸職員も「品質・玉太り・食味は良好だ。今後出荷量は増える見込みなので、攻めの販売を行いたい」と意気込んでいました。



収穫に追われる岩下さん(6月中旬)



会の作付面積は3ha(前年比89%)、生産者数18戸で出荷計画5万5千ケース、約9千万円の販売額を見込んでいます。

坂田一雄部会長は「本年度も無事に出荷査定会を迎えられた。部会員は減少したが、昨年以上の数量が採れるように部会員一丸となつてがんばろう」と挨拶しました。査定会前には現地ハウスで県農業普及振興課から招いた講師と共に栽培検討会を行いました。

出荷は7月中旬頃ピークを迎えますが、販売係の岩下職員は「品質・食味も良好な出来になっている。最後まで自信を持って販売をしていきたい」意気込みを語っていました。(写真右Ⅱ現地での栽培検討会の様子)

目標販売高5億8500万円
南部トマト部会出荷査定会

6月20日、JA阿蘇南部トマト部会は生産者・市場・JA関係者ら約100人が出席し、2017年産南部トマト部会出荷査定会を熊本エミナースで行いました。

冒頭、林淳一部会長が「栽培講習会等による指導内容を遵守し、収量向上を目指していきましょう」と挨拶。その後、本格的な出荷を前に選果場への持込要領などについて協議が行われました。

今年は定植後の大きな気候変動もなく、例年に負けない品質となつています。出荷は7月中旬以降にピークを迎え、販売担当の後藤辰徳職員は「今年も美味しい阿蘇トマトを消費地に自信を持って届けられる」と語っていました。同部会では圃場ごとに土壌分析を行い、その結果に応じて必要な量だけを施肥することで無駄なコストがかからないようにしています。

2017年産作付面積は19ha(前年比98%)、栽培戸数67戸(同)となっており、6月より11月まで出荷を行い、出荷数量45万ケース(1ケース4kg)、販売高5億8500万円を計画しています。

『生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報』

**目標販売高1億2600万円
白水ミニトマト部会出荷査定会**

名実ともに、夏秋ミニトマトのリーダー産地を目指すJA阿蘇白水ミニトマト部会は6月27日、2017年産出荷査定会を高森町で開き、生産者ら約50人が参加しました。査定会を前に甲斐敏一部会長が「安定した出荷量を確保し、消費地へ安定した品質、出荷量を届けていきたい」と挨拶しました。

同部会は過去に県野菜振興協会より団体功労賞を受賞、長年にわたり高品質の商品を出荷してきました。出荷は11月まで予定され、出荷数量90万パック(1パック200g)、販売金額1億2600万円を見込んでいます。本年産の作付概況は生産者18人、作付面積4.5haとなっています。

熊本県庁で「阿蘇メロン試食会」



JA阿蘇白水メロン部会は6月6日、熊本県庁で「メロン試食宣伝会」を開きました。この試食宣伝会は阿蘇メロンの美味しさをPRするために、同部会が毎年開催しています。当日は生産者ら6人が約80玉を1玉500円で販売、約1時間で完売しました。同部会はポジティブリスト制度を遵守し、生産者が特定できるシールを貼って出荷しています。(写真Ⅱ試食宣伝会の様子)

**「場外ホームランメロン」好評完売！
白水メロン部会**



JA阿蘇白水メロン部会では、5月中旬より予約を受け付けていた期間・数量限定の「場外ホームランメロン」の出荷が6月に入り本格的に始まり、既に、6月上旬には好評完売となりました。「場外ホームランメロン」は同部会が有利販売を行うために作ったオリジナル規格で、1株当たりの玉数を制限することで果実が肥大し大玉で甘いメ

ロンを作ることが可能となり、大きいものでは1玉2kgを超えます。

固定客は年々増え、県内はもちろん東北地方まで贈答用としても発送され、出荷時には生産者の写真と一緒に紹介文も届けています。(写真上Ⅱ今季も好評につき完売の「場外ホームランメロン」)

**今季も7月上旬まで出荷
高森地区赤肉系メロン「レノン」**



JA阿蘇高森メロン部会の赤肉系メロン「レノン」の出荷が5月下旬より7月上旬まで続きました。

高森地区はJA阿蘇管内のメロンリレー販売を締める最後の地区となっており、同地区では他産地との違いを出すために赤肉系メロン生産に力を入れています。(6月中旬取材時)生産者の三森一男さんは「小玉傾向であるが、品質は例年になく順調に仕上がっている」と語り、販売担当の藤吉友也職員も「赤肉メロンの魅力を多くの方に味わって頂きたい」と話していました。

**15度以上の甘いメロン出荷
中部メロン部会**

阿蘇中部メロン部会では、特産メロンの出荷を6月1日から下旬まで行いました。本年度生産面積は60a(前年比114%)、栽培戸数6戸で3品種(ホームラン・アンデス・肥後グリーン)の栽培に取り組みました。今季は初期の樹勢管理が難しく1週間ほど遅れての収穫でしたが、糖度は15度以上あり良質なメロンとなりました。販売担当の岩下職員は「生産量は年々減少しているが、今年のメロンは品質・食味とも良好なので、自信を持って販売できました」と語っていました。



初出荷メロンを検査する販売担当職員

今季は7月上旬までに県内外へ295tの出荷があったとみられています。(写真上Ⅱ収穫作業をする三森さん)

『生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報』

情報共有化で信頼される産地を
蘇陽総合部会連絡協議会

JA阿蘇蘇陽総合部会連絡協議会の総会が6月9日に開催され、関係者約30人が出席しました。総会に先立ち、山口高則部会長が「良い品物を作って消費地に安定供給が出来るよう頑張ろう」と挨拶しました。

同協議会は野菜・果樹・花卉・稲作の12部会から構成され、市場からも夏秋産物の重要産地として位置付けられています。総会では2016年度事業実績など3議案が承認され、次年度も安定生産供給と栽培管理に力を入れ、安全・安心な農産物の提供を目指していくことを確認しました。

当日は役員改選も行われ、次の方々（敬称略）が選任されました。

▽部会長 佐藤幸代 ▽副部会長 杉本勇一 栗屋力也 園田浩之 ▽会計 穴見栄作 ▽監事 田中千男 喜町義弘

『阿蘇高原からの贈り物』
蘇陽ブルーベリー使用商品

蘇陽地区で栽培されたブルーベリーをふんだんに使用したサワーとジャム。これらの商品は「阿蘇高原からの爽やかな果実の贈り物」として、単品のほか詰め合わせギフトセットも好評です。地元物産館では年間を通して購入することが出来ます。販売単価（税別）は、ギフト大（サワー2本・ジャム3個）3,500円、ギフト小（サワー1本・ジャム2個）2,200円。単品販売も可能で、サワー1本800円、ジャム1個500円となっています。（問）JA阿蘇蘇陽営農センター（0967-83-1656）（写真＝好評なギフトセット）

JA阿蘇小国郷だいこん部会
福岡中心に年間30万ケース出荷

小国郷だいこん部会は6月13日、小国郷営農センターに生産者ら30人が出席し、春夏産だいこん出荷査定会を開催しました。佐藤由孝部会長は「本格的な出荷に備え、規格を順守して高品質なだいこんを消費地に供給しよう」と挨拶しました。現在、同部会は生産者20戸で、福岡県を中心に年間30万ケース（1ケース10～15kg）を12月まで出荷予定です。（写真右＝挨拶をする佐藤由孝部会長）

7～8月が出荷最盛期
JA阿蘇小国郷きゅうり部会

小国郷きゅうり部会の夏秋きゅうり出荷が、7～8月出荷最盛期を迎えました。梅雨明け後の連日の夕立で生産者は栽培管理に苦慮し、また酷暑の中での栽培のため、年々、栽培戸数・栽培面積は減少傾向にあります。生産を続ける生産者の意欲は高まっています。現在、生産者60戸で県内及び九州地方へ15万ケース（1ケース5kg）を11月末まで出荷の予定です。（写真＝集荷作業に精を出す担当職員）

「ハウス原木しいたけ」出荷 小国郷しいたけ部会

小国郷しいたけ部会（生産者29戸）のハウス栽培原木しいたけ出荷が6月中旬より本格的に始まりました。本年は梅雨の降水量が例年より少なく、湿度も低く乾燥気味のため、出荷数量は例年よりも少なくなっていますが品質は良く、県内及び九州地方へ52万5000パック（1パック100g）を年間を通して出荷予定です。（写真＝生育状況を確認する木下職員）

『放牧牛入牧祭』を開催
南小国町の波居原牧野組合

波居原牧野組合は6月27日、牧野組合員や関係者ら25人が出席して入牧祭を行いました。放牧に先立ち、ダニ駆除作業や繁殖検診、受胎率向上の勉強会を行った後、放牧中の牛の安全を祈って懇談会も開催され、夜遅くまで賑わいました。波居原牧野組合は194haの原野を管理し、5戸の畜産農家が51頭の牛を放牧しています。（写真＝放牧牛にダニ対策をする波居原牧野組合の畜産農家）

電化フェア お買い得商品多数! この機会をお見逃し無く!!



バッグ



ランドセル



靴



ジュエリー

天草の真珠専門店



メガネ



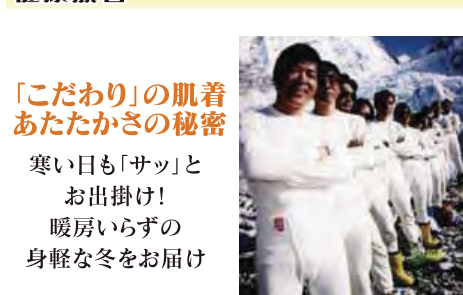
ゴルフ用品



呉服



健康肌着



健康寝具



農業用品





2017 JA阿蘇

総合展示会

主催 JA阿蘇 共催 JA阿蘇女性部・JA熊本経済連・(株)エコープ熊本

取扱品目/紳士服・婦人服・靴・バッグ・宝飾品・メガネ・化粧品・ゴルフ用品・呉服・寝具・農作業用品・家電製品・ガス器具・調理器具・健康器具・住宅設備類・その他
※会場により異なる場合がございます。

北部地区
(小国会場)

14日 15日

平成29年 10月 午前10:00～午後6:00 午前10:00～午後5:00

場所 小国郷中央支所

南部地区
(白水会場)

21日 22日

平成29年 10月 午前10:00～午後6:00 午前10:00～午後5:00

場所 南阿蘇村白水体育館

中部地区
(阿蘇町会場)

28日 29日

平成29年 10月 午前10:00～午後6:00 午前10:00～午後5:00

場所 阿蘇市阿蘇第一体育館

10回払いまで金利手数料無し (JA阿蘇が負担いたします) フリークレジット 2万円以上 (税別) お買い上げの方一部対象外商品もあります

秋・冬物新作

この冬大注目!!
ストレッチダウンコート

今年は黒が大人気

冬物特価コーナー

● 20%OFF

パンツ・コート・ブラウス

● 2点で¥10,800均一

パンツ・ブラウス・ジャケット・チュニック

今年こそはガウチョ・
ワイドパンツに挑戦!!

- 婦人カットソー・チュニック各種 .. ¥2,160～
- 婦人セーター各種 ¥4,320～
- 婦人パンツ ¥5,400～
- 婦人ジャケット・コート ¥10,800～

ブラックフォーマルフェア

スーツ・パンツスーツ・アンサンブル など
7号～17号まで

お買得品 (数量限定) ブラックフォーマル
特別奉仕品

定価の半額!

ゆったりサイズのコーナー

好評のゆったりサイズコーナーをアイテム数を増やして
さらに充実ご期待ください。

好評の均一特価コーナー

よりどり ¥3,240 ¥5,400
(¥3,000税抜き) (¥5,000税抜き)

チュニック・シャツ・スカーフ・ジャケット など
売り切れご免の大放し!!

お買い得商品多数

- カジュアル
シャツ2着目半額
- スラックス
2本目半額
- 子供服 処分価格

下取りセール

既製スーツ上下

例 下取り ¥10,000で 税込¥19,800より

既製フォーマルスーツ上下

例 下取り ¥10,000で 税込¥19,800より

マッサージチェア FUJIIRYOKU

展示会
特別価格

お気軽にご体験ください。

お米低温貯蔵庫

10台
限定

展示会特価
大和冷機
GVR-14

118,000円

※配送設置料込み

健康食品

コッカス健康食品

●腸内フローラ●

からだの中から美しくお腹の善玉菌を増やし、
健康維持に貢献します。

住宅関係

シロアリ・蟻アリ
JA!!

太陽熱温水器

アズマソーラー
冬も追い炊きいらず!!
湯量もたっぷり!!

ガス器具・
ガスコンロ
展示販売

『生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報』

アスパラガス試食宣伝会
熊本大同青果で実施

JA阿蘇アスパラ部会は6月22日、試食宣伝会を熊本大同青果（熊本市）で行いました。出荷市場での試食宣伝会は初めての試みで、当日は山部修部会長ら生産者4人が参加。朝競りに合わせて試食宣伝会を行い、アスパラガスの天ぷら等3品を用意しました。

試食した仲卸業者は「夏芽は堅いイメージがあつたが、柔らかくて美味しい」と好評が寄せられました。指導販売係の後藤真智職員は「まずは買い手に味を知ってもらい、その美味しさを小売店などへ繋げてもらいたい」と、今回の手応えを感じていました。（写真Ⅱ様々なレシピも用意された会場の様子）

「阿蘇アスパラガス」を
KBCラジオ生中継でPR

7月31日、九州朝日放送（KBC）のラジオカー「ひまわり号」の現地レポ―

ピーマン7月中旬出荷う

JA阿蘇南部地区



南部地区では夏秋野菜の出荷が始まつており、ピーマンも6月中旬、日量100ケース（1ケース4.5kg）が出荷されています。同地区の出荷形態は「バラ詰め」中心ですが、単価底上げを目的として「袋詰め」の出荷比率増加に一昨年より部会一丸となり取り組んでいます。2017年産は生産者43人（前年比102%）、作付面積5.2ha（同104%）で、10月下旬まで234tの出荷を見込

トが山部部会長のハウス（二の宮町）から生中継され、阿蘇アスパラガスの生産状況や美味しい調理法等と一緒にPRしました。アスパラガス本来の味を噛みしめたりポーターは「甘みがあり、美味しい」と絶賛していました。アスパラ部会では販売促進にも力を入れており、今後とも県内外の試食宣伝会などで阿蘇アスパラガスの美味しさを伝えていく計画です。

トルコギキョウ11月まで出荷
波野花卉部会

んでいます。販売担当の上田裕樹職員は「安定した品質で消費地に届けることと阿蘇の信頼性を高めたい」と抱負を語っていました。（写真上Ⅱピーマンの品質確認をする担当者）

波野地区では、冠婚葬祭需要で最も利用が多いトルコギキョウの出荷が7月上旬より始まっています。同地区は寒暖差を利用し、九州管内市場でも有名なトルコギキョウ産地となつています。現在、生産戸数4戸で栽培面積が95a、出荷本数は約30万本（前年比110%）、販売金額約3750万円（同112%）を計画しています。

部会長の工藤富之さんは「本年度は病害虫等の発生も少なく良質なスタートとなった。今後は高温対策等をしつかり行い計画に沿った出荷を目指したい」と語っていました。（写真Ⅱ選別作業に追われる工藤さん）

「ホオズキ」8月盆に向け出荷本番
今年から全生産者が天敵昆虫導入

西原地区のホオズキ栽培は、現在、生産者8戸、作付面積75aで行われています。ホオズキは暑さに強く低コスト栽培が可能で、夏場の収入源を確保できるということから11年前より始めました。

導入当初は、害虫対策や玉飛びの発生による商品価値の低下が問題となつたりしましたが、受粉作業の効率向上のためにクロマルハナバチを利用し、害虫対策としては今年から全生産者が天敵昆虫を導入しています。

販売担当の田上剣太郎職員は「市場評価も年々高まつており、今後も高品質の商品とするために、さらに栽培面での課題を整理していきたい」と話していました。8月盆に向けては枝で2万5000本、実で3万玉を県内外へ出荷予定です。（写真Ⅱ出荷前のホオズキを確認する担当職員）

『生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報』



「万次郎カボチャ」生育良好
計画出荷量約200tを見込む

野尻地区では、お盆やお彼岸時期に合わせて10月中旬頃までに8万本のユリ出荷が予定されています。生産者の一人である瀬井美雄さんは、20年ほど前からユリに取り組み、栽培管理や土作りにこだわり、高品質で安定的な出荷を続けてきました。瀬井さんは「市場からも高い評価を得ているので、これからも信頼を損なわないように高品質のユリを作り、市場との意見交換を大事にしていきたい」と話していました。(写真＝生育状況を確認する担当職員)



野尻地区のユリ出荷始まる
高品質安定で高い市場評価

市場担当者と仲卸にPR!
地元市場でヒゴムラサキ試食宣伝会



南部なす部会は6月13日、特産ヒゴムラサキの試食宣伝会を熊本大同青果で行いました。当日は本田寅雄部会長ら生産者2人が参加。朝競りに合わせて試食宣伝会を行い、試食のほか様々なレシピも紹介しました。

販売担当の藤吉友也職員は「地元での知名度がまだ低いので、試食宣伝会

西原地区では2011年より耕作放棄地対策として、村が「万次郎カボチャ」栽培を推進。翌年より西原かぼちや部会が結成され、現在、45人が18haで栽培しています。販売担当の鞭馬直輝職員は「昨年は地震の影響で定植が遅れたが、今年は予定通りの定植も出来、生育は良好」と話しています。

収穫は10月下旬より始まり、契約先に大半が加工用として全量出荷されます。(写真上＝生育を確認する担当職員)

を通してヒゴムラサキという名前も定着させていきたい」と今後の課題を語っていました。(写真上＝好評だった試食宣伝会のひとコマ)

南部なす部会出荷査定会
「連携強化と高品質確保」推進

南部なす部会は6月16日、2017年産出荷査定会を高森中央支所で行い、生産者ら約40人が参加しました。査定会を前に本田寅雄部会長が「安全安心なヒゴムラサキを消費地へ届けるとともに、阿蘇の生産者が元気であることを伝えていきたい」と挨拶しました。

今年は12月まで出荷計画を立てており、3万2850ケース(1ケース7kg)、610万円の売り上げを予定しています。



「たい肥の達人」坂田職員による
野草堆肥作り始まる＝小国郷営農C

小国郷営農センター畜産課堆肥センターでは、阿蘇の野草を利用した堆肥作りが始まりました。従来は牛糞堆肥のみを製造していましたが、野草堆肥の中には良質な牛糞堆肥の約10倍もの有用菌が存在していることが明らかになり、地元園芸農家からの要請もあり、野草堆肥作りに踏み切りました。野草堆肥作りには、県耕畜連携推進協議会より「たい肥の達人」に認定され、堆肥作りに30年従事しているベテランの坂田三喜男職員が担当しています。本年は、牛糞30tに対して野草ロール5本を投入し、10月上旬には完成の予定です。(写真＝堆肥作りに励む「たい肥の達人」坂田職員)



収穫作業をしていた本田寅雄部会長(左写真)は「色、ツヤともに従来の穂木よりも良く、秀品率は大きく向上した」と、感想を語っていました。

「ヒゴムラサキ」出荷最盛期
昨年より秀品率20%向上

JA阿蘇南部なす部会では、高森特産ヒゴムラサキの出荷が最盛期(7月下旬取材時)を迎え、高森集荷場には朝早くから生産者が箱詰めしたヒゴムラサキを持ち込む姿が見られています。2017年産においては、穂木を「ヒゴムラサキ2号」に変更しました。

JA阿蘇、地域社会と一体になって、多方面に取り組む

JA阿蘇主催「アンパンマン
交通安全イベント」大盛況！

7月8・9日、JA阿蘇主催で「JA共済アンパンマン交通安全キャラバン」(右写真)が開かれました。4回の公演に延べ2000人の来場者があり、子供たちは大好きなアンパンマンと一緒にクイズやダンスを行い、帰りにはお菓子の土産をもらい、大満足のイベントとなりました。

JA阿蘇青壮年部一の宮支部
地元小学生と食育学習を行う

青壮年部一の宮支部は6月6日、二の

地域の景観を守ろう」一の宮支部盟友
今季2回目の環境美化作業

宮小学校2年生63人と一緒にミニトマトの苗植えをしました。

同年では、食育学習として毎年ミニトマトを栽培しており、青壮年部一の宮支部の園芸専門部員が指導をしています。児童らは「早くミニトマトが食べられるよう頑張つて水やりや肥料をあげます」と喜んでいました。



苗を傷めないように、真剣な表情で個々のプランターに移植する子供たち

青壮年部一の宮支部は6月9日、今季2回目となる環境美化作業を四季彩いちのみや直売所周辺で行いました。当日は盟友15人が参加し敷地内の芝や畔の除草作業をしました。作業後は店舗内にある青空食堂で親睦会を行い、盟友同士の絆を更に深めました。(写真上り除草作業を行う盟友)

ドライブウェイサービス
コンテストJA阿蘇大会開催

ドライブウェイサービスコンテストJA阿蘇大会に出場した選手と原山組合長ほか関係者の皆さん

7月27日、ドライブウェイサービスコンテストJA阿蘇大会が一の宮SSで開かれました。大会にはJA阿蘇管内各SSより選抜された8人が出場しました。詳細にわたる厳しい審査の結果、フルサービス部門は久木野SSの

集中豪雨被災農地の復旧支援
小国郷営農センター職員頑張る

7月5日の集中豪雨で、河川の氾濫により浸水した南小国町の農業用ビニールハウス内の堆積物除去(右写真)に、小国郷営農センターの職員延べ30人が3日間参加しました。同地域は福岡県朝倉市や大分県日田市の災害地と比べ被害規模も小さく、あまり報道されずボランティアなどの支援の手が足りていませんでした。なんとか復旧のめどが立ち、さつそく小国郷特産のほうれん草の作付け準備が始まりました。

興梠七幸さん、セルフサービス部門は小国郷SSの財津祐心さんが最優秀賞に選ばれ県大会に出場します。

前回県大会では両部門ともに最優秀賞で、JA阿蘇は団体賞を獲得しており県大会2連覇を目指します。

熊本県大会は9月13日にグランメッセ熊本で行われます。応援よろしくお願いします。

「JA阿蘇きらり」



営農部南部営農センター園芸課指導販売係

ありま ひろと
有馬 弘人

★趣味＝運動すること

★一言コメント＝入組2年目です。
生産者さんの役に立てるよう頑張ります。
よろしくお願いいたします。



阿蘇南中央支所金融課金融係

まつお とも
松尾 朋

★趣味＝カフェ巡り、旅行

★一言コメント＝入組2年目です。まだまだ組合員
さんにご迷惑をかけることが多いですが、少しでも
喜んでもらえるように心がけています。

JA阿蘇イラスト違い探し「渓谷での水遊び」

(出題:イラストレーター みやたまゆき)

左右2枚のイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください！



※答えは16ページにあります。

理事会・監事会報告

■平成29年度第4回理事会

日時 平成29年6月19日午後3時30分 場所 リバーサイドホテル熊本

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
- 5月末実績報告について
- 監査報告(平成28年度決算期末監査)
 - 1) 第16回通常総代会の開催について
 - 2) 役員賠償責任保険継続加入と保険料徴収について(案)
 - 3) JA自己改革の实践と熊本地震からの復旧・復興に関する緊急決議について
 - 4) 貸出金について
 - 5) 平成30年度JA阿蘇職員募集について

報告事項

- 1) 平成29年度米麦等棚卸監査実施要領について
- 2) 平成29年度夏の農機・自動車展示会開催について
- 3) 2017JA-SSドライブウェイサービスコンテスト
JA阿蘇大会開催について
- 4) 平成28年度熊本地震関連災害復旧事業実績報告について
- 5) 自己改革への取り組みについて

4. 閉会

■平成29年度第5回理事会

日時 平成29年6月23日総代会終了後予定 午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1) 仮議長選任について
 - 2) 代表理事及び役付理事の選任について
定款第31条及び32条の規定により、代表理事及び役付理事を次のとおり選任する。
 - 3) 常勤理事の他の団体理事等への就任の承諾について
 - 4) 理事の順位について 1. 2. 3.

報告事項1 新任非常勤理事研修会の開催について
理事会開催日程について

4. 閉会

■平成29年度第6回理事会

日時 平成29年7月5日午後1時30分 場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
4. 月末実績について
 - 1) 業務報告書の行政庁への提出について
 - 2) 事業のご案内2017(ディスクロージャー誌)について
 - 3) 事業のご案内2017(ミニディスクロージャー誌)について
 - 4) 各専門委員会等の委員の互選について
 - 5) 平成29年度 役員報酬について
 - 6) 役員退職慰労金の支給について
 - 7) 職員夏期賞与支給について

報告事項

- 1) 常勤役員等の他の団体理事等への就任について
- 2) 平成29年度座談会開催状況について
- 3) 平成29年度夏の農機・自動車展示会開催について
- 4) 2017JA-SSドライブウェイサービスコンテスト
JA阿蘇大会開催について
- 5) 役員賠償責任保険継続加入と保険料徴収について
- 6) 理事との利益相反にかかる取扱いについて
- 7) 定款・規約・諸規程集、理事会等会議資料の管理および連絡事項について
- 8) 平成27年度産米最終精算について

4. 閉会

■平成29年度第7回理事会

日時 平成29年7月27日午後1時30分 場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
- 委員会報告(経済専門委員会、総務専門委員会、金融共済専門委員会)
- 6月末実績報告について
 - 1) 平成28年度決算監事監査回答書について(案)

- 2) ゆうちょ銀行ATM顧客手数料の再設定について(案)
- 3) JA農業法人ローンの創設について(案)
- 4) 熊本地震にかかる日銀資金借入の1年間延長について(案)
- 5) 平成29年度余裕金運用計画について
- 6) 債権管理委員会要領の改正について(案)
- 7) 貸出金について
- 8) 平成29年度畜産近代化リース事業借受申請について(3件)
- 9) 利益相反取引について
- 10) JA阿蘇米穀共同計算委員会要領の改正について(案)
- 11) 蘇陽Aコープ跡店舗復旧工事について
- 12) 支所運営委員の承認について
- 13) 米穀共同計算委員の選任について

報告事項

- 1) 平成29年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラム
(H29年6月末)進捗状況について
- 2) 不祥事未然防止の為の行動計画(H29年6月末)進捗状況について
- 3) JA阿蘇活動総合3ヶ年計画(H29年6月末)進捗状況について
- 4) 平成29年度米麦等棚卸監査の実施について
- 5) 内部監査実施状況報告書(平成29年4月～6月)について
- 6) 全般統制に関する評価報告書について
- 7) 役員の農協事業利用調査アンケートについて
- 8) ATM利用状況について(6月末)
- 9) JAバンク報告「経営管理資料」について
- 10) 平成29年6月末余裕金運用状況について
- 11) 平成28年度利益相反取引(貸出金)報告について
- 12) 台風3号被害状況報告について
- 13) 平成29年7月6日豪雨災害被害状況について
- 14) 裁判の経過及び告発について
- 15) 役員の支所施設等視察巡回について

4. 閉会

●平成29年度第4回監事会

日時 平成29年5月31日理事会終了後 場所 一の宮中央支所小会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1) 平成28年度熊本県常例検査第1回回答書について

4. 閉会

●平成29年度第5回監事会

日時 平成29年6月23日午後1時30分 場所 一の宮中央支所小会議室

1. 開会
2. 仮議長選任
3. 議題
 - 1) 役付監事の選任について
 - 2) 監事の順位について
4. 報告事項
 - 1) 行事予定について
5. 閉会

●平成29年度第6回監事会

日時 平成29年7月4日午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1) 平成29年度役員報酬について
 - 2) 役員退職慰労金の支給について
 - 3) 平成29年度米麦等棚卸監事監査(案)について
 - 4) 要改善JA要綱・JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中および農林中金が定める事項について

報告事項

- ① 定款及び監事監査規程、監事会規程について
- ② 監事の行為基準について
- ③ 監事会および監事監査等の年間計画について
- ④ 新任監事研修会および監事研修会について
- ⑤ 平成28年度決算監事監査報告について
- ⑥ 不祥事再発防止策内部監査実施状況報告(4月～6月)について
- ⑦ 監事名簿について
- ⑧ 行事予定について

4. 閉会



JA阿蘇親善野球大会 「小国郷チーム」県大会出場へ



熊本県JA親善野球大会予選を兼ねた第14回JA阿蘇親善野球大会が6月17日、6チームが参加し阿蘇農村公園あびかで行われ、熱戦の結果、小国郷チーム（右写真）が優勝を果たしました。開会式では原山組合長が日頃の業務のお礼を述べ「親善を交えて最後まで怪我がなく楽しくプレーして下さい」と挨拶。阿蘇町チームの橋本雅貴選手が力強く選手宣誓をしました。

小国郷は1回戦で一の宮に17対3、2回戦は高森・蘇陽に9対5、決勝戦では阿蘇南Aと対戦、初回に5点を先取、中盤以降も得点を追加し13対0で県大会への切符を手に入れました。

JA県親善野球大会「小国郷」 決勝トーナメント進出ならず

第41回JA熊本県親善野球大会が7月22日、菊池恵楓園グラウンドで開

かれ、県内JAや農林中金・経済連・共済連など15チームが参加しました。JA阿蘇からは阿蘇大会で優勝した小国郷チームが出場。開会式では高村涼選手が元氣よく選手宣誓を行いました。予選リーグ戦でJA阿蘇は第1試合でJAあまくさに3対1で敗れ、第2試合では前大会優勝のJA熊本市と対戦しましたが10対1で敗れ、惜しくも決勝トーナメント進出ができませんでした。



写真上＝県内JAなど15チームが参加した開会式 写真左＝高村涼選手の選手宣誓



JA阿蘇親善ソフトバレー大会 上位3チーム、県大会に出場



宮川・上原両職員による選手宣誓

JA阿蘇女子職員の親睦と融和を図るとともに、県大会の予選を兼ねた第12回JA阿蘇ソフトバレー大会が7月29日、一の宮体育館で行われ10チーム約80人が熱戦を繰り広げました。

開会式で原山組合長は「業務終了後の練習で大変だったと思いますが、最後まで楽しくプレーして下さい」と挨拶。選手宣誓は前大会優勝チームの上原祐子・宮川理沙両職員が行いました。

プレーでは素晴らしいアタックがあったり、時には笑いがあつたりで、選手の皆さんは楽しい時間を過ごしました。上位3チームは9月9日、ウイングまつばで開かれる熊本県大会に出場します。

試合の結果は次の通り。

▽優勝「いくらちゃん」(一の宮)

▽準優勝「阿蘇南①」(南部地区混合)

▽3位「わかめちゃん」(一の宮)

写真右から「いくらちゃん」「阿蘇南①」「わかめちゃん」の各チーム



JA阿蘇職員異動のお知らせ（平成29年8月1日発令）

氏 名	新 辞 令	旧 辞 令
中嶋しおみ	阿蘇町中央支所共済課共済係長	共済部業務課業務係
村上 貴代	波野支所金融共済係	高森中央支所金融共済課金融共済係
山内 寛	一の宮中央支所購買課波野購買係（一の宮グリーン）	波野支所金融共済係

『収入保険制度』とは

平成31年からスタート予定

個人

具体的な仕組み

収入保険制度は、品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、**価格低下なども含めた収入減少を補償**する仕組みです。

① 青色申告を行っている農業者（個人・法人）が対象です。

※ 5年以上の青色申告実績がある者が基本ですが、**青色申告（簡易な方式を含む）の実績が、制度加入時に1年分あれば加入できます。**なお、**その場合の補償限度額は、申告実績が5年になるまで徐々に引き上げていく**等の措置が検討されています。

② 農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体が対象です。

※加工品は販売収入には含めません。ただし、簡易な加工品（精米など）は含まれます。
※一部の補助金（畑作物の直接支払交付金等の数量払）は含まれます。
※肉用牛、肉用子牛、肉豚等は、マルキン等の対象なので除きます。

③ 当年の収入が基準収入の9割（5年以上の青色申告実績がある場合）を下回った場合に、下回った額の9割（支払率）を補償します。※最高限度選択の場合

※基準収入は、農業者ごとの過去5年間の農産物の販売収入の平均を基本とし、規模拡大など当年の営農計画等も考慮して設定します。

※補償限度額及び支払率は複数の割合から選択できます。

※「掛捨ての保険方式」（必須）に「掛捨てとまらない積立方式」も組み合わせるかどうかを選択できます。

④ 農業者は、保険料・積立金を支払って加入します。（任意加入）

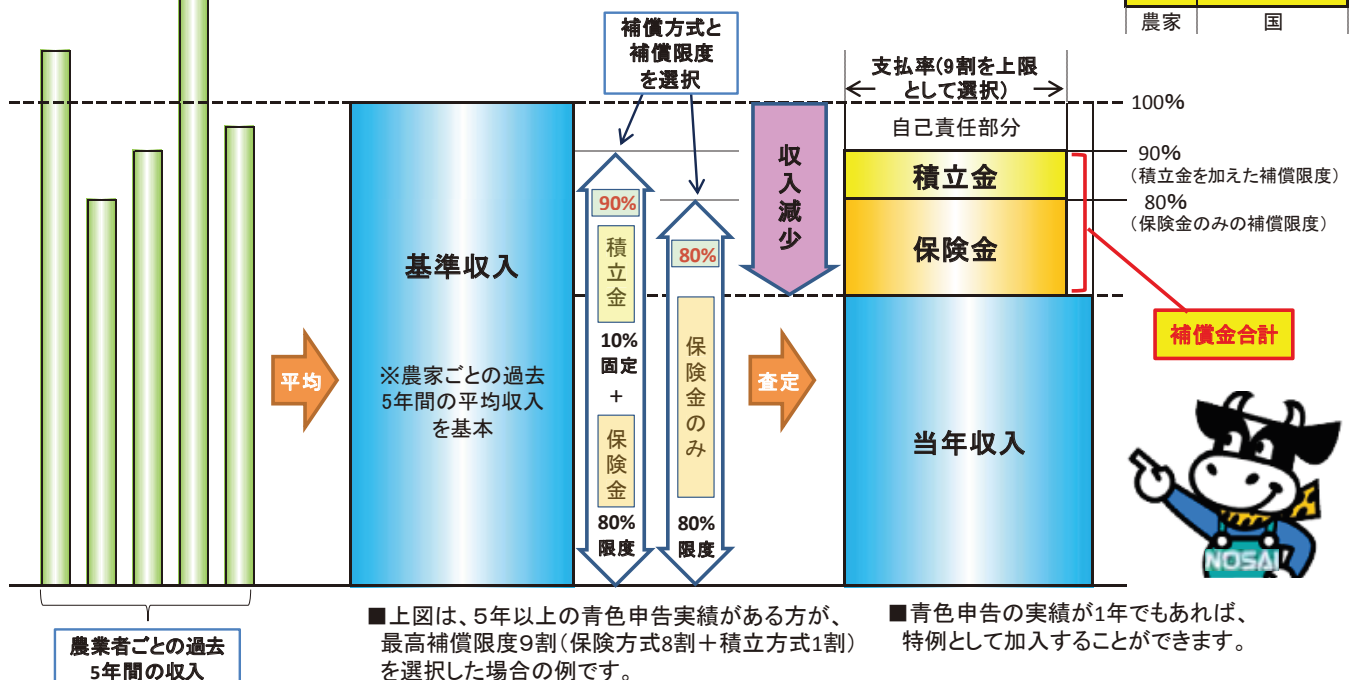
※保険料は掛捨てになります。保険料率は、今後変更があり得ますが、現時点の試算（補償限度80%の場合）では1%（50%の国庫補助後）です。

※積立金は自分のお金であり、補償に使われない限り、翌年に持ち越されます。75%の国庫補助があります。なお、積立金は基準収入の10%(固定)です。

〈補償のイメージ〉

「積立金」の負担割合

1/4	3/4
農家	国



保険料・積立金・補償額の例

基準収入が1,000万円の農業者が、補償限度9割（8割が保険方式＋1割が積立方式）、支払率9割を選択した場合

■農業者に用意いただくお金

保険料は、7.2万円

積立金は、22.5万円

合計 29.7万円

※ 別途、賦課金が必要となります。

■補償金額

「積立金90万円」の内訳

22.5万円	67.5万円
農家	国

収入減少の程度 (当年収入)	補償金 の合計	補償金の内訳	
		保険金	積立金
30%(700万円)	180万円	90万円	90万円
50%(500万円)	360万円	270万円	90万円
100%(0万円)	810万円	720万円	90万円

加入の際にご注意いただくこと

■「収入保険」に加入する場合、以下の類似制度との重複加入はできません。

◎農業共済（水稻、麦、大豆、果樹、園芸施設の内容農作物）

◎収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）

◎野菜価格安定制度

◎加工原料乳生産者経営安定対策

◎いぐさ・畳表農家経営所得安定化対策 など

☆肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン）

☆養豚経営安定対策事業（豚マルキン）

☆肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛繁殖経営支援事業

☆鶏卵生産者経営安定対策 など



固定資産の損失を補償するものは、収入保険制度とは重複しませんので、農業共済制度への加入ができます。（対象は以下のとおり）

◎家畜共済：搾乳牛・繁殖雌牛等の死傷事故、病傷事故全般

◎園芸施設共済：ハウス本体、ビニール、附帯施設

また、上の☆の事業については、耕種部門（米や野菜、果実など）との複合経営の場合、☆に該当する畜産部門を除いて「収入保険」に加入できます。

加入・支払等のスケジュール（平成30年秋に加入申請開始の個人の場合）

～平成29年	平成30年	平成31年	平成32年
青色申告の実施 平成29年のみの実績でも加入できます。	加入申請 (10月～11月) 保険料の納入 (12月末まで)	収入保険制度の 収入算定期間 (1月～12月)	確定申告(3月) 保険金等の 請求・支払 (3月～6月)

※ 法人の場合は、事業年度（税の収入の算定期間）により、加入申請時期等は異なります。

2017.05

NOSAI熊本 お問い合わせ先

本 所 電話(0964) 25-3200
熊本市支所 電話(096) 329-5211
植木出張所 電話(096) 273-1913
宇城支所 電話(0964) 32-3511
玉名支所 電話(0968) 72-4181
鹿本支所 電話(0968) 43-2357
菊池支所 電話(0968) 37-3000

阿蘇支所 電話(0967) 32-0347
北部出張所 電話(0967) 46-3488
南部出張所 電話(0967) 62-9144
上益城支所 電話(096) 282-6565
山都出張所 電話(0967) 72-4222
八代・芦北支所 電話(0965) 32-4111
芦北出張所 電話(0966) 82-5577

球磨支所 電話(0966) 45-0531
下球磨出張所 電話(0966) 22-5104
天草支所 電話(0969) 22-5444
[家畜診療所]
本 所 電話(0964) 25-3220
菊池支所 電話(0968) 37-3877
阿蘇支所 電話(0967) 32-0360

平成30年度 高卒(新規学校卒業)JA阿蘇職員募集要項

阿蘇公共職業安定所
求人番号43090 - 45779

●阿蘇農業協同組合の職員採用を下記内容により実施いたします。

1. 採用職種及び採用予定者数 一般事務職……8名程度 農業関係技術職……2名程度
2. 受験資格 平成30年3月（来春）までに卒業見込みの者
3. 受験手続
 - (1) 提出書類 統一応募書類（全国高等学校統一用紙 その1、その2）
 - (2) 募集締切日……平成29年9月8日（金）必着
 - (3) 応募書類提出及び問い合わせ先
【住 所】〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387番地5
【連絡先】阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課（電話）0967 - 22 - 6111
【担 当】阪本・工藤
 - (4) 応募方法 ア. 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。
イ. 学校を通じ申し込むものとする。
4. 試験の日時・場所及び内容
 - (1) 第1次試験【日時】平成29年9月20日（水）午前9時15分から午後12時15分
（受付：午前8時30分～9時00分）
【場所】阿蘇農業協同組合 一の宮中央支所
【内容】基礎能力検査（言語・数理・論理・常識・英語）マーク式 適性検査及び作文
 - (2) 第2次試験【日時】第1次試験合格者のみに後日通知します。
【内容】面接試験
5. その他
 - (1) 受験票、筆記用具（鉛筆等）を持参して下さい。
 - (2) 受験のための費用は支給しません。

平成30年度 高卒(既卒)・専門学校・短大卒・大卒JA阿蘇職員募集要項

●阿蘇農業協同組合の職員採用を下記内容により実施いたします。

1. 採用職種及び採用予定者数 一般事務職……7名程度 農業関係技術職……3名程度
2. 受験資格 昭和57年4月2日以降出生の者で平成30年3月（来春）までに卒業見込みの者。
但し、平成30年3月新規学校卒業見込み者（高校在学中）については別途求人票による。
3. 受験手続
 - (1) 提出書類 ア. 履歴書（J I S規格） …… 1通（写真付）
イ. 写真（3×4cm） …… 1枚
（履歴書に貼付した写真と同じものとし、裏面に学校名・住所・氏名を記入）
ウ. 学校成績証明書
エ. 卒業証明書又は卒業見込証明書
 - (2) 募集締切日 …… 平成29年9月8日（金）必着
 - (3) 応募書類提出及び問い合わせ先
【住 所】〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387番地5
【連絡先】阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課（電話）0967 - 22 - 6111
【担 当】阪本・工藤
 - (4) 応募方法 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。
4. 試験の日時・場所及び内容
 - (1) 第1次試験
【日時】平成29年9月20日（水）午前9時15分から午後12時15分（受付：午前8時30分～9時00分）
【場所】阿蘇農業協同組合 一の宮中央支所
【内容】高校（既卒）… 基礎能力検査（言語・数理・論理・常識・英語）マーク式 適性検査及び作文
短大卒…………… 基礎能力検査（言語・数理・論理・常識・英語）マーク式 適性検査及び小論文
大学卒…………… 基礎能力検査（言語・数理・論理・常識・英語）マーク式 適性検査及び小論文
 - (2) 第2次試験
【日時】第1次試験合格者のみに後日通知します。
【内容】面接試験
5. その他
 - (1) 受験票、筆記用具（鉛筆等）を持参して下さい。
 - (2) 受験のための費用は支給しません。